

## 災害時の避難に関するQ&A

### Q. 避難する・避難しないの判断をする目安はありますか？

- A. 避難とは、「難」を「避」けることであり、安全な場所にいる方まで避難する必要はありません。自宅の場所をハザードマップで確認のうえ、自宅周辺に洪水や土砂災害の危険性が高い区域の方は避難しましょう。

### Q. どこに避難すればいいですか？

- A. 災害が迫っている際には、市が指定緊急避難場所を開設します。最初に、「防災・中央コミュニティセンター（市役所となり）」を開設し、気象状況などに応じて、順次、指定緊急避難場所を開設します。一斉に全ての指定緊急避難場所が開設されるわけではありませんのでご注意ください。また、避難先は指定緊急避難場所だけではありません。安全な知人や友人、親せき宅、ホテルなどの宿泊施設も避難先になりますので、積極的に避難先として検討しましょう。

### Q. 避難情報はどのように伝えられますか？

- A. 避難指示などの避難情報や指定緊急避難場所の開設情報は、テレビやラジオ、市ホームページなどのインターネット、防災行政無線（同報無線）、美濃市防災・あんしんメール（登録制メール）などでお伝えします。事前に、美濃市防災・あんしんメールに登録しておきましょう。

### Q. 河川の水位などは、どこで確認できますか？

- A. 河川の水位などは、岐阜県が提供している「岐阜県川の防災情報」にて確認いただけます。土砂災害の危険性については、「ぎふ土砂災害警戒ポータル」をご確認ください。なお、「美濃市防災情報アプリ」では、市内に流れている河川の水位情報やライブカメラの映像、雨量などを1つの画面で確認することができます。

### Q. 何を持って避難すればいいですか？

- A. 市の備蓄品は数に限りがあり、種類も限りがありますので、各自で必要なものを持参してください。

【例】食料（パンなどの軽食やお菓子など）、飲料水、クッション、タオルケット、スリッパ、充電器（モバイルバッテリー）、マスク、体温計、常備薬、メガネ（老眼鏡）、ビニール袋、ポケットティッシュ、ウエットティッシュ、ハンドタオル、貴重品など

### Q. 新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されますが、指定緊急避難場所に避難しても大丈夫ですか？

- A. 指定緊急避難場所においては、事前受付において体温測定・健康状態の確認を行い、避難所内においては、換気、避難者同士の距離をとるなどの対策を徹底しますので、躊躇せず避難してください。

ただし、避難所への避難は、少なからずストレスによる免疫力の低下や、集団生活による感染リスクを伴います。このようなリスクを回避するため、あらかじめ、親せきや知人宅への避難を検討願います。